

試料（血液、尿、唾液）と測定データの保管について

提供していただいた試料と測定データの記録は、千葉ユニットセンターとコアセンターの鍵をかけた保管庫で保存します。

データは氏名をはずしてからインターネットや他の機器と接続していないコンピュータに保存します。試料やデータを廃棄する場合は、誰のものかわからないようにして廃棄します。

他の研究への利用について

お子さんやご両親からいただく試料とデータは、病気や発達に関する研究に役立つ貴重なものです。そのため、もし同意をいただけるなら、お子さんにご両親のデータを、将来計画される他の研究にも使わせていただきたいと考えています。その場合は試料とデータを上記の方法で保存します。そして新たに研究実施計画書を作成し、生命倫理審査委員会の承認を受けて実施します。

研究成果の公表について

この研究により、医学の発展に役立つ新しい研究成果が得られた場合には、学会や学術誌などで発表します。その際、研究に協力した方の名前を公表することはありません。

研究の結果、特許権等が生じることがありますが、研究に参加された方に権利はありません。

追加調査への参加は自由です

追加調査に協力するかどうかは自由です。お子さまの意思を尊重してお決めください。協力しなくても、お子さんやお父さん・お母さんに不利益になることは一切ありません。

追加調査には参加せず、エコチル調査学童期検査だけ参加することもできます。お子さんだけ参加することはできますが、お母さんやお父さんだけが参加することはできません。

追加調査への参加は、あとで撤回することもできます。ただし、すでに研究成果が論文などで公表されているなど、結果を廃棄できない場合があります。

遺伝カウンセリングについて

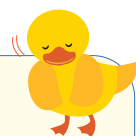
病気のことや遺伝子解析について不安や相談したいことがある方には、遺伝カウンセリングを紹介することができます。カウンセリングをご希望の方は、エコチル調査千葉ユニットセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

追加調査について、お聞きになりたいことがありましたら、ご遠慮なく下記までお問い合わせください。

エコチル調査千葉ユニットセンター 山本 緑

TEL: 043-290-3920 (9:00 ~ 17:00 お盆、年末年始、土日曜・祝日を除く)



エコチル調査学童期検査に参加されるお子さんの保護者の皆さまへ

千葉ユニットセンター追加調査

ご協力をお願いのための説明書

追加調査について

追加調査とは、全国のエコチル調査とは別にユニットセンターが独自に研究を行うものです。

この追加調査は、エコチル調査学童期検査に参加されるお子さんとお母さん、お父さんに、ご協力をお願いいたします。

追加調査に参加されるかどうかは、ご自由にお決めください。ご参加いただける方は、追加調査用の「同意書」に署名をお願いいたします。

説明の内容についてわからないことがありましたら、お気軽にエコチル調査千葉ユニットセンターの追加調査担当者(最後のページに記載)にお問い合わせください。



研 究 課 題 名：子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)に伴う千葉ユニットセンターにおける追加調査およびプレ調査の実施

追 加 調 査 実 施 責 任 者：千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学教授
千葉大学予防医学センター長・エコチル調査千葉ユニットセンター長
森 千里

共同研究施設研究責任者：東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
複雑形質ゲノム解析分野教授(遺伝子解析) 鎌谷 洋一郎
フクダ電子株式会社 深谷恭平(脈波データ解析)
応用電機株式会社メディカルチーム 米田勇太郎(骨密度データ解析)
東京医科大学分子細胞治療研究部門 落谷孝広(試料分析)

この研究は千葉大学大学院医学研究院の生命倫理審査委員会で、人権が守られていること、倫理的に問題がないことを確かめ、承認されています。

研究の計画について詳しく知りたい方は、資料を用意しますので、千葉ユニットセンターの担当者にお知らせください。

研究期間は 2027 年 3 月 31 日までの予定です。

この調査の目的



環境要因や病気と発達にかかわるしくみを くわしく調べます

ほとんどの病気や子どもの発達は、体質（遺伝要因）と生まれ育った環境（環境要因）の両方が関わっています。体質は、遺伝子という体の設計図によって決まり、環境によって遺伝子が変わったり、遺伝子の働きを調節するしくみが変わることがありますが、まだわからないことがたくさんあります。

この追加調査では、遺伝要因と環境要因がどのようにお子さんの病気や発達と関わっているかを調べるため次の研究を行います。

- ① お子さんの血液をいただき、遺伝子やその働きを調節するしくみを調べます。
- ② 親の体質と子どもの体質との関わりを調べます（お母さんとお父さんも協力できる方のみ）。
- ③ お子さんの血液と尿に含まれる化学物質や健康状態に関する物質を測定します。
- ④ これまでにエコチル調査で集めさせていただいたデータも利用します。

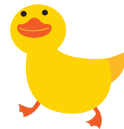
血液の一部は、今後のエコチル調査をよりよい形で進めるため、エコチル調査コアセンター（国立環境研究所）で化学物質の分析を行い、研究を行います。

ご協力いただく内容



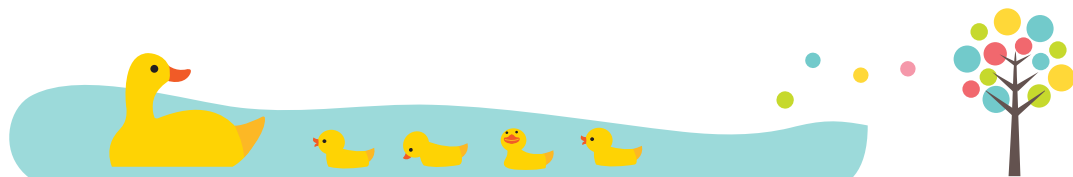
お子さんについて

- ① 血液（8 ml 程度）：学童期検査の会場で採血を行います。
- ② 尿：学童期検査の尿に 1 本（10ml）追加して提出をお願いします。
- ③ 頭囲・胸囲・腹囲の測定：学童期検査の会場で行います。
- ④ 血圧脈波の測定：学童期検査の会場で行います。
血管の硬さや詰まり具合を調べる検査です。
仰向けに寝て、心音を測定するマイクを胸につけ、両手首と両足首にシートを巻いて血圧を測ります。
手足が少し圧迫されますが痛みはほとんどありません。測定時間は 5 分～ 10 分ほどです。
- ⑤ 骨密度の測定：学童期検査の会場で行います。※会場の都合により省略する事があります
片方の手首に超音波をあて、骨の強さを測ります。痛みはありません。測定時間は 5 分ほどです。



お母さんとお父さんについて（2人とも協力可能な方をお願いします）

- ① 唾液（2ml 程度）：学童期検査のときにキットをお渡ししますので、後日郵送でお送りください。（以前の追加調査で唾液をご提供いただいた方は、今回のご提供は不要です。）



参加される方の利益、不利益とその対応について

利益について

この追加調査により、環境要因が病気の予知や予防につながるような成果が得られることを期待しています。参加していただくことにより、医学の発展に貢献できる可能性があります。

不利益の可能性と対応について

- ・ 試料採取と身体測定のために多少時間がかかります。（15 分程度）
- ・ 採血の際に多少の痛みや内出血等が伴うことがあります。
痛みや内出血のほとんどは一時的なものです。ご希望の方には、痛みを感じにくくするテープをしばらく貼ってから採血させていただきます。（テープの効果が出るまでに 30 分かかります。）
- ・ 可能性は低いですが、まれに合併症や事故（細菌感染、神経損傷等）が生じることがあります。

もし、採血の際にお子さんの気分が悪くなったりした場合は、すぐに採血を中止し、担当者が適切に対応します。非常にまれに、しびれ等の症状が残ることがあります。そのような場合は、千葉大学予防医学センターにお知らせください。治療費がかかる場合は予防医学センターが負担いたします。

費用や謝礼について

研究費用について

この追加調査は、予防医学センターの研究費を用いて実施します。追加調査にかかる費用の負担を皆様にはお願いすることはありません。また、学童期検査と一緒にいきますので、よけいに交通費がかかることはありません。

謝礼について

追加調査への協力にかかるご負担への謝礼として、1000 円のクオカードをお渡しいたします。ご協力いただいた内容の多少にかかわらず、謝礼は同額となります。



検査結果の返却について

頭囲・胸囲・腹囲の測定記録をお返しします。
お子さまの血液をご提供いただいた方には、アレルギー検査結果（総 IgE）をお返しします。
血圧脈波と骨密度と遺伝子については、何らかの違いが見つかったとしても、健康状態との関わりについて確かなことは言えないため、血圧脈波や骨密度の測定値と遺伝子を解析した結果は返却いたしません。

個人情報の保護について

遺伝情報は、個人にかかわる重要な情報ですので、個人情報及び遺伝情報は、他人に漏れることのないよう厳重に管理します。血液、尿、唾液と測定データは、氏名などの個人情報を削除して新たに番号をつけ、これらの情報がお子さんやご両親のものであるとすぐにわからないようにして管理します。この研究で集めた試料の一部は、共同研究施設にて解析することがありますが、氏名などの個人情報を削除し、個人情報が外部に漏れることのないよう管理します。
千葉大学の保有するあなたの個人情報の取り扱い方針については、千葉大学のホームページをご参照ください。（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）



試料（血液、尿、唾液）と測定データの保管について

提供していただいた試料と測定データの記録は、千葉ユニットセンターとコアセンターの鍵をかけた保管庫で保存します。
データは氏名をはずしてからインターネットや他の機器と接続していないコンピュータに保存します。
試料やデータを廃棄する場合は、誰のものかわからないようにして廃棄します。



他の研究への利用について

お子さんやご両親からいただく試料とデータは、病気や発達に関する研究に役立つ貴重なものです。
そのため、もし同意をいただけるなら、お子さんにご両親のデータを、将来計画される他の研究にも使わせていただきたいと考えています。その場合は試料とデータを上記の方法で保存します。そして新たに研究実施計画書を作成し、生命倫理審査委員会の承認を受けて実施します。



研究成果の公表について

この研究により、医学の発展に役立つ新しい研究成果が得られた場合には、学会や学術誌などで発表します。その際、研究に協力した方の名前を公表することはありません。
研究の結果、特許権等が生じることがありますが、研究に参加された方に権利はありません。



追加調査への参加は自由です

追加調査に協力するかどうかは自由です。お子さまの意思を尊重してお決めください。協力しなくても、お子さんやお父さん・お母さんに不利益になることは一切ありません。
追加調査には参加せず、エコチル調査 8 歳詳細調査だけ参加することもできます。お子さんだけ参加することはできますが、お母さんやお父さんだけが参加することはできません。
追加調査への参加は、あとで撤回することもできます。ただし、すでに研究成果が論文などで公表されているなど、結果を廃棄できない場合があります。



遺伝カウンセリングについて

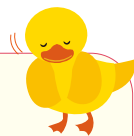
病気のことや遺伝子解析について不安や相談したいことがある方には、遺伝カウンセリングを紹介することができます。カウンセリングをご希望の方は、エコチル調査千葉ユニットセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

追加調査について、お聞きになりたいことがありましたら、ご遠慮なく下記までお問い合わせください。

エコチル調査千葉ユニットセンター 山本 緑

TEL: 043-290-3920 (9:00 ~ 17:00 お盆、年末年始、土日曜・祝日を除く)



エコチル調査 **8 歳詳細調査** に参加されるお子さんの保護者のみなさまへ

千葉ユニットセンター追加調査



ご協力をお願いのための説明書

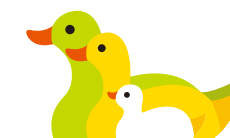
追加調査について

追加調査とは、全国のエコチル調査とは別にユニットセンターが独自に研究を行うものです。

この追加調査は、エコチル調査 8 歳詳細調査に参加されるお子さんとお母さん、お父さんに、ご協力をお願いいたします。

追加調査に参加されるかどうかは、ご自由にお決めください。ご参加いただける方は、追加調査用の「同意書」に署名をお願いいたします。

説明の内容についてわからないことがありましたら、お気軽にエコチル調査千葉ユニットセンターの追加調査担当者(最後のページに記載)にお問い合わせください。



ちばエコチル調査

研 究 課 題 名：子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)に伴う千葉ユニットセンターにおける追加調査およびプレ調査の実施

追 加 調 査 実 施 責 任 者：千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学教授
千葉大学予防医学センター長・エコチル調査千葉ユニットセンター長
森 千里

共同研究施設研究責任者：東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻
複雑形質ゲノム解析分野教授(遺伝子解析) 鎌谷 洋一郎
フクダ電子株式会社 深谷恭平(脈波データ解析)
応用電機株式会社メディカルチーム 米田勇太郎(骨密度データ解析)
東京医科大学分子細胞治療研究部門 落谷孝広(試料分析)

この研究は千葉大学大学院医学研究院の生命倫理審査委員会で、人権が守られていること、倫理的に問題がないことを確かめ、承認されています。
研究の計画について詳しく知りたい方は、資料を用意しますので、千葉ユニットセンターの担当者にお知らせください。

研究期間は 2027 年 3 月 31 日までの予定です。

この調査の目的



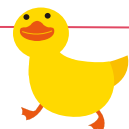
環境要因や病気と発達にかかわるしくみを くわしく調べます

ほとんどの病気や子どもの発達は、体質（遺伝要因）と生まれ育った環境（環境要因）の両方が関わっています。体質は、遺伝子という体の設計図によって決まり、環境によって遺伝子が変わったり、遺伝子の働きを調節するしくみが変わることがありますが、まだわからないことがたくさんあります。

この追加調査では、遺伝要因と環境要因がどのようにお子さんの病気や発達と関わっているかを調べるため次の研究を行います。

- ①お子さんの血液をいただき、遺伝子やその働きを調節するしくみを調べます。
- ②親の体質と子どもの体質との関わりを調べます（お母さんとお父さんも協力できる方のみ）。
- ③お子さんの血液と尿に含まれる化学物質や健康状態に関する物質を測定します。
- ④これまでにエコチル調査で集めさせていただいたデータも利用します。

ご協力いただく内容



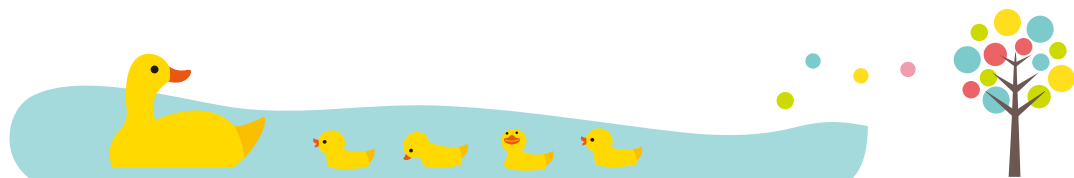
お子さんについて

- ① **血液(2 ml程度)**：詳細調査の採血(10 ml)の時に追加して2 ml採血させていただきます。(合計の採血量が12 mlになります)。針を刺す回数が増えることはありません。
- ② **尿**：詳細調査の尿に1本(10 ml)追加して提出をお願いします。
- ③ **胸囲の測定**：詳細調査の会場で行います。
- ④ **血圧脈波の測定**：詳細調査の会場で行います。(会場等の都合により、実施しない場合があります。) 血管の硬さや詰まり具合を調べる検査です。
仰向けに寝て、心音を測定するマイクを胸につけ、両手首と両足首にシートを巻いて血圧を測ります。手足が少し圧迫されますが痛みはほとんどありません。測定時間は5分～10分ほどです。
骨密度の測定：詳細調査の会場で行います。(会場等の都合により、実施しない場合があります。) 片方の手首に超音波をあて、骨の強さを測ります。痛みはありません。測定時間は5分ほどです。



お母さんとお父さんについて（2人とも協力可能な方をお願いします）

- ① **唾液(2ml 程度)**：詳細調査のときにキットをお渡ししますので、後日郵送でお送りください。(以前の追加調査で唾液をご提供いただいた方は、今回のご提供は不要です。)



参加される方の利益、不利益とその対応について

利益について

この追加調査により、環境要因が病気の予知や予防につながるような成果が得られることを期待しています。参加していただくことにより、医学の発展に貢献できる可能性があります。

不利益の可能性と対応について

- ・採血量2 mlの追加では、身体的負担が増えることはありません。
- ・血圧脈波と骨密度の測定を実施する場合には、少し時間がかかります。(15分程度)



費用や謝礼について

研究費用について

この追加調査は、予防医学センターの研究費を用いて実施します。追加調査にかかる費用の負担を皆様にはお願いすることはありません。また、詳細調査と一緒にいきますので、よけいに交通費がかかることはありません。

謝礼について

追加調査への協力にかかるご負担への謝礼として、1000円のクオカードをお渡しします。ご協力いただけた内容の多少にかかわらず、謝礼は同額となります。



検査結果の返却について

この追加調査では測定結果の返却はありません(8歳詳細調査の結果はこれまで通りお返しします)。血圧脈波と骨密度と遺伝子については、何らかの違いが見つかったとしても、健康状態との関わりについて確かなことは言えないため、血圧脈波や骨密度の測定値と遺伝子を解析した結果は返却いたしません。

個人情報の保護について

遺伝情報は、個人にかかわる重要な情報ですので、個人情報及び遺伝情報は、他人に漏れることのないよう厳重に管理します。血液、尿、唾液と測定データは、氏名などの個人情報を削除して新たに番号をつけ、これらの情報がお子さんやご両親のものであるとすぐにわからないようにして管理します。この研究で集めた試料の一部は、共同研究施設にて解析することがありますが、氏名などの個人情報を削除し、個人情報が外部に漏れることのないよう管理します。千葉大学の保有するあなたの個人情報の取り扱い方針については、千葉大学のホームページをご参照ください。(URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

